

Recherche 000014 マリンスタイルカットソー仕様書

ニット用

パターンパーツ数 11

～付属品～

伸び止めテープ(ウーリースピンテープ)

接着芯

留め具

サイズ	80	90	100	110	120	130
天巾	12	12.6	14	14.4	15	15.6
肩巾	20	21.5	23	25	26.5	28
身巾	24	25.6	27.4	29.2	31.2	33
身丈	27	30	33.5	37	39.5	41
半袖丈	7	7.6	8.2	8.7	9.2	9.7
長袖丈	27.5	31	35	39.5	43	46

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しています。
いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転
売はご遠慮ください。

■ 用語

CF(センターフロント).....前中心

CB(センターバック).....後中心

SL(ショルダーライン).....肩線

AH(アームホール).....袖ぐり

SNP(ショルダーネックポイント).....肩線の衿側

空ロック.....布端処理等に用いる、縫い合わせをしないロック

コバステッチ.....1~2 mmの端ミシン

■ 裁断前に必ず地直しを行ってください。**■ 生地テンションは中~高がおすすめです。****■ 二本針四本糸ロックミシン使用を想定しています。それ以外の場合は着用し辛くなったり、糸切れの原因になりますのでご注意ください。**

パターンには芯を貼る位置やステッチの巾等の指示が書いてありますので、本仕様書と共に確認しながら作業を進めてください。

----- 作り方 -----

裁断

地の目線を確認し、生地の方向や伸びに注意しながら裁断します。

ノッチ(合印)を入れます

裁断時、わ になった部分にもノッチを入れます。(FC、BC、衿)

衿付け止まりの合印には切り込みを入れません。※チャコペン等でしるしを付けます。

※ノッチとは、縫い代に0.3 cmほどの切り込みを入れることです。

※ノッチを深く入れすぎるとほつれやすくなりますので注意します。

※各所縫い合わせの時はこのノッチどうしを合わせます。

伸び止めテープ・接着芯を貼ります

「後身頃 SL(肩線)の縫い代の裏」に伸び止めテープもしくは接着芯を貼ります。(※パターンに指示あり)

「前・後の見返し」に伸び止めテープもしくは接着芯を貼ります。(※パターンに指示あり)

セーラーカラーを作る場合は「上衿の裏」に接着芯を貼ります。

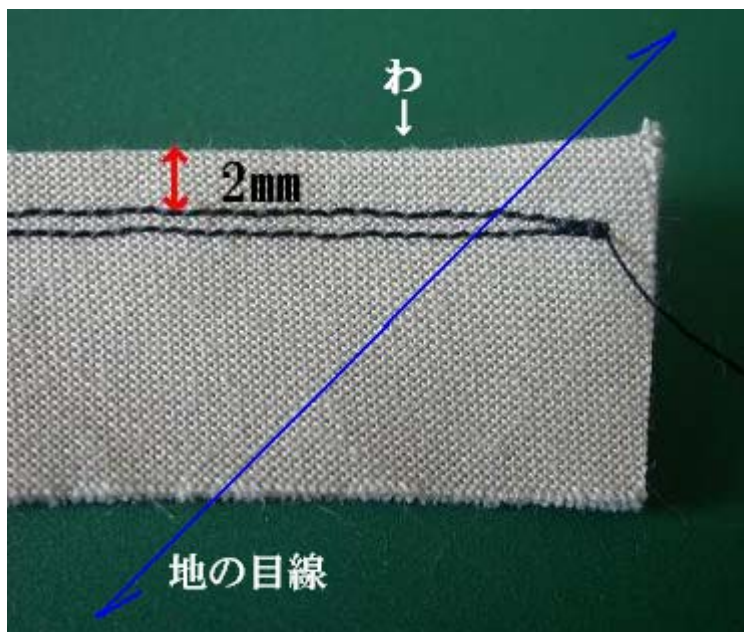
ループを作ります

バイヤスに生地を裁ちます。

片側を「わ」にします。

「わ」から3mmの位置に直線ミシンをかけます。(ミシン目は細か目に)

「わ」から2mmの位置に直線ミシンをかけます。(※縫い始め・縫い終わりは3mm位置のステッチに重ね、口を広くしておくこと反しやすくなります。)



ステッチの際でカットし、ループ反しを使い生地を裏返します。

～ループ反しがない場合～

ステッチの縫い終わりの糸を長めに残して切ります。

閉じ針などを用い、ループの中に糸を通しそのまま引き抜き裏返します。



ボタンの大きさや厚みを考慮し、縫い代2cmを足し、必要数を切り取ります。

(※ループの縫い代は両端各1cm＝計2cmです。)

セーラーカラー ※Vネックの場合は省略し、次ページへ

「衿」と「衿」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。
縫い代を5mmにカットし、切り込みを入れます。(※カーブの急な所は多めに)



角を斜めに切り落とします。



衿を表に反し、アイロンをかけ、コバステッチをかけます。

ラインを入れる場合はこの段階で縫い付けます。
(※コバステッチは省略可。)
(※接着芯を貼った方を上襟にします。)

身頃をロックで縫い合わせます



生地を中表に重ね、5mm切り落としながら5mm巾ロックで「前身中央」と「前身脇」を縫い合わせます。

同様に「後身中央」と「後ろ身脇」を縫い合わせます。



生地を中表に重ね、5mm切り落としながら5mm巾ロックで「前身頃のSL」と「後身頃のSL」を縫い合わせます。

(※縫い目を見やすくする為、左画像ではSLに伸び止めテープを貼っていません。)

(※身頃の切り替えの縫い代はAH側に倒します。)

見返し（※下画像の見返しはセーラーカラー用ですが、Vネックも同様にします。）



生地を中表に重ね、5 mm切り落としながら5 mm巾ロックで「前見返しの SL」と「後見返しの SL」を縫い合わせます。



3 mm切り落としながら5 mm巾の空ロックを縫い合わせた「見返しの外周」にかけます。
※SLの縫い代は後身頃側に倒します。



一番下のループの位置まで切り込みを入れます。



ループを仮留めします。(※出来上がり線より縫い代側に)

■ セーラーカラー ■ ※Vネックの場合は10ページへ



「身頃」と「見返し」を中表に重ねます。

ループの縫い代を裏側に出します。



あきの周囲を直線ミシンで縫います。(※衿ぐりの縫い代は縫いません。)

※ループの縫い代を反対側の縫い目に縫いこまないように注意します。



ループの縫い代を避けてあき止まりまで切り込みを入れます。

※ あき止まりは丸く切り込みます。

襟の上面(出来上がり時に表になる方)を上にし、見返しと身頃の間に挟み込みます。襟の先の合印の位置を切り込みに合わせます。(見返し・襟・身頃の縫い代巾が合います。※次ページ画像参照)





「見返し」・「衿」・「身頃」
が重なった状態で、衿ぐり
の出来上がり線に直線ミ
シンをかけます。



衿ぐりの縫い代を 5 mm にカットしま
す。

襟ぐりの縫い代に切り込みを入
れます。(カーブの急なところは多
めに。)

CF の切り込み位置の角を斜めに
切り落とします。



見返しを裏側に反します。

衿を立て、直線ミシンで衿ぐりにステッチをかけます。

(※セーラーカラーの衿ぐりは5mm~7mm巾ステッチ、あき部分はコバステッチをかけます。)

■ V ネック ■



「見返し」と「身頃」を中表に重ね、「衿ぐり」と「あき」の出来上がり線を直線ミシンで縫います。

(※ループの縫い代を避けて縫います。)



8 ページ一番上の画像のように「あき」に切り込みを入れます。
衿ぐりの縫い代を 5 mm 巾にカットし、縫い代に切り込み(カーブの急なところは多めに)入れ、CF の切り込み位置の角を斜めに切り落とします。
見返しを反し、アイロンをかけ、「衿ぐり」~「あき」にコバステッチをかけます。



AH

■ ノースリーブ ■ ※半袖・長袖の場合は次ページへ
3 mm 切り落としながら 5 mm 巾の空ロックを「AH」にかけます。
出来上がり線で折り返し、5 mm 巾ステッチをかけます。



■ 半袖・長袖 ■

3 mm切り落としながら5 mm巾の空ロックを「前・後身頃の肩あき部分の縫い代」にかかけます。

袖口を出来上がり線で折り、ステッチをかけます。



「身頃」と「袖」を中表に重ね、5 mm切り落としながら5 mm巾ロックで縫い合わせます。



※表からみたところ

脇～裾

「身頃」を中表に重ね、5 mm切り落としながら5 mm巾ロックで縫い合わせます。
(※袖口の縫い代は身頃側に倒します。)



「袖口の縫い代」を後身頃側に倒し、直線ミシンを
かけ押さえます。

(※ノースリーブは袖口～1 cm程度)

(※半袖・長袖は袖口～1.5 cm程度)

3 mm切り落としながら5 mm巾の空ロックを「裾」にかけます。

(※切り替え部分の縫い代は外(脇)側へ倒します。)

(※脇の縫い代は後身頃側へ倒します。)

「裾」を出来上がり線で折り、ステッチをかけます。



あきにボタンを縫い留めます。

見返しの浮きが気になる場合はSLの縫い代に手で縫い留めます。

-----完成-----